

会議録

会議の名称	第3回西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成28年7月25日 午後2時から午後4時まで
開催場所	エコプラザ西東京（講座室）
出席者	【委員】 山谷会長、一方井委員、福田委員、池月委員、平山委員、笠原委員、草野委員、渡部委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員、関野委員、 【事務局】 松川部長、原島課長、都築ごみ減量係長、本多清掃係長、江崎主任、下田技能長、岩崎技能長、磯部技能長、三村技能主任、小島主事
議題	(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向けた重点プロジェクトの選定 (2) その他
会議資料の名称	資料No.1 第2回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料No.2 現状維持による推計値 資料No.3 多摩地域における他市との比較（平成26年度実績） 資料No.4 施策の体制
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言内容等</p> <p>1 会長から開会の挨拶</p> <p>2 第2回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録について会議録は承認された。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 西東京市一般廃棄物処理基本計画の目標達成に向けた重点プロジェクトの選定</p> <p>(資料No.2) 現状維持による推計値</p> <p>(資料No.3) 多摩地域における他市との比較（平成26年度実績）</p> <p>(資料No.4) 施策の体制</p>	

(委員の意見)

【委員】回収車両の台数の見直しは、どのくらいの台数の削減を見込んでいるのか。

【事務局】現段階では具体的な数値の把握は難しいので、GPSタブレットを使用し、収集ルートや収集時間をデータ化することにより、車両台数や収集ルートの見直しをし、車両台数を減らしていきます。

【委員】事業系ごみの対策をするなら市が積極的に事業系の運搬計画等の具体的な計画を作成する必要がある。

【事務局】今後は、事業系ごみのマニュアル作りや、大規模事業所の指導等を行っていく予定です。

【委員】ごみの減量に対して、家庭系・事業系を同時に進めていく必要がある。

【委員】ごみを出している人に指導して意識を変えていくよりも、環境教育のように、子供の頃から教えるのが効果的である。

【委員】戸別回収にすることで、回収費用がどのくらい変わるのか。

【事務局】検討中ですが、集積所回収よりも費用はかかります。

【委員】地域の交流がなくなることもあるため、申請制度を使う手段もある。

【委員】戸別回収は、個人の責任で排出するため、意識の向上に繋がる。

【委員】主要道路沿いの集積所では、車からの不法投棄もある。戸別回収にすれば、不法投棄もなくなる。

【委員】回収頻度はどうなるのか。

【事務局】資源だけでなく、全体的に回収頻度は見直しを検討します。

【委員】ペットボトルなどの拠点回収を行っている品目は、回収頻度を減らしても問題ないと思う。

【委員】資源の戸別回収となったときは、袋による排出になるのか。

【事務局】検討中です。

【委員】ざつ紙バックのモニターは決まったのか。

【事務局】決まりました。モニター調査を経て、意見等をまとめてから実行等の検討をしていきます。

(2) その他

次回の日程について、

【事務局】次回の開催は8月26日午後3時からを予定しています。